

地域生活支援拠点等の整備について

1 地域生活支援拠点等運営検討会（以下「検討会」という。）における検討状況について

今年度の検討会では、昨年度に引き続き、地域生活支援拠点に求められる各機能について議論を進めているが、板橋キャンパスに整備が予定されていた障がい者福祉施設については、資材高騰等の影響により、入札不調となり、事業を見直すこととなった。

このことにより、緊急時の受入、体験の場の機能を有する施設整備が延期となるが、少しでも早く整備できるよう、現在、区の関連施設において、それらの機能を担えるよう協議を進めている。

引き続き、地域生活支援拠点の整備に向けて準備を進めていくとともに、緊急時の連携体制等について議論を進めていく。

なお、令和4年度（10月現在）は、次のとおり検討会を実施している。

<令和4年度 地域生活支援拠点等運営検討会>

回	開催方法	開催期間	主な報告・検討事項
第1回	対面	5月20日(金)	○〔相談〕・〔緊急時の受入〕機能に関する課題抽出について
第2回	書面	7月22日(金)～ 8月5日(金)	○(仮称)安心支援プランの運用について
第3回	対面	9月7日(水)	○各機能別の進捗状況について確認 ○(仮称)安心支援プランの運用について

2 今後の検討会スケジュール(案)

10月以降については、次のとおり実施を予定している。概ね年6回の検討会にて協議し、進展があった内容について、適宜、自立支援協議会等にて報告していく。

<検討会スケジュール>

回	開催方法	開催期間
第4回	対面	11月未定
第5回	対面	1月未定
第6回	対面	3月未定

3 今年度の動きについて

地域において緊急時の受入等の対応をしていくには、事業所との連携が不可欠となる。今後、地域生活支援拠点整備に向けた検討と合わせて、福祉サービス事業所との連携体制構築に向けて、地域生活支援拠点に係る協議を進めるとともに、周知を図っていく。

4 検討会を踏まえた進捗状況について

(1) 相談機能

①板橋区でめざすべき姿（2点）

- 障がい者福祉センター（基幹相談支援センター）の機能移転・充実や、特定相談支援事業所等を活用した、緊急時に常時連絡が取れる体制（拠点）の検討・整備
- 障がいの特性に応じた相談、関係機関への円滑な接続ができる体制の検討・整備

②進捗状況

検討項目①
基幹相談支援センターの相談機能充実に向けた、関係機関との連携について
進捗状況
・令和4年度より職員体制を強化し、相談支援事業所へのアウトリーチを含め、連携強化の実施。 ➡詳細については、相談支援部会にて報告予定。

検討項目②
休日、夜間等における虐待対応の検討について
進捗状況
・令和4年4月より「日曜・夜間における障がい者虐待相談受付」を実施。本事業の実施により、24時間365日の虐待相談受付体制を構築。 ➡詳細については、権利擁護部会にて報告済。

検討項目③
緊急時を想定し、支援が見込めない世帯の把握方法の検討について
進捗状況
・介護者がいなくなった場合などの状況下で、一人で生活することが困難な障がい当事者を『(仮称)安心支援プラン』対象者として、障がいサービス利用計画等に表記を加え、基幹相談支援センター及び関係機関で情報を共有する仕組みについて検討中。 ・(仮称)安心支援プラン書式、アセスメントシート、個人情報同意書等の素案を作成。 ➡詳細については、相談支援部会にて協議中。

(2) 緊急時の受入・対応

①板橋区でめざすべき姿（4点）

- 区内短期入所施設との連携、協力体制の確保に向けた検討・調整
- 緊急保護事業（赤塚ホーム）における受入の充実に向けた検討
- 板橋キャンパス（令和5年3月予定）の短期入所施設における受入枠の確保に向けた調整
- 関係機関へ適切に接続しうる連携体制の検討

②進捗状況

検討項目①
短期入所施設への地域生活支援拠点の協力体制構築に向けた検討について
進捗状況
<ul style="list-style-type: none">・地域生活支援拠点関連の報酬加算及び役割を整理し、区内短期入所事業所への緊急時の受入に向けた協力を依頼予定。・基幹相談支援センターにおいて、支援者向けの短期入所の社会資源ガイドマップを作成し、緊急時の受入につながりやすい環境整備を実施することで、民間事業所との連携体制確保による充実を図った。

検討項目②
緊急受入を想定した赤塚ホームの有効活用に向けた検討について
進捗状況
<ul style="list-style-type: none">・赤塚ホームでの受入充実に向けた協議を継続中。 ➡協議に進展があった場合、自立支援協議会等にて報告予定。

検討項目③
板橋キャンパス短期入所施設の整備状況の把握・協議について
進捗状況
<ul style="list-style-type: none">・板橋キャンパス（都有地活用）の整備については、コロナ禍による建設資材の高騰などの影響により、事業自体の見直しを行うこととなった。 ➡協議に進展があった場合、自立支援協議会等にて報告予定。

検討項目④
行政、福祉サービス事業所間の緊急時における連携体制の検討
進捗状況
・(仮称) 安心支援プラン利用者については、介護者等の不在の事態に備えて、可能な範囲で短期入所を体験的に活用することで、短期入所につながりやすくなる仕組みについて現在検討中。

(3) 体験の機会の場

①板橋区の目指すべき姿(2点)

○ 地域移行支援や親元からの自立等に当たって、共同生活援助等の障がい福祉サービスを利用し、一人暮らしの体験の機会や場を提供する。
○ 居住以外の体験として、就労等の体験の機会や場を提供する。

②進捗状況

検討項目①
板橋キャンパス整備共同生活援助の整備状況の把握・協議について
進捗状況
・板橋キャンパス(公有地活用)の整備については、コロナ禍による建設資材の高騰などの影響により、事業自体の見直しを行うこととなった。 ➡協議に進展があった場合、自立支援協議会等にて報告予定。

検討項目②
ハートワークでの就労体験
進捗状況
・障がい者の就労相談先として運営するとともに、就労体験の場として「こすもす」を運営。 ➡詳細については、就労支援部会にて協議を実施。

検討項目③
区内グループホームとの連携
進捗状況
・区内グループホームには、区の関連施設がないため、対応を別途検討中。

(4) 専門的人材の確保・養成

①板橋区の目指すべき姿（2点）

- 医療的ケアが必要な方や行動障がい有する方、高齢化に伴い重度化した障がいのある方に対して、専門的な対応ができる体制を確保する。
- 専門的な対応ができる人材の養成を行う。

②進捗状況

検討項目①
研修の充実について
進捗状況
<ul style="list-style-type: none">・ 区内主任相談支援専門員が協働して、連絡会において相談支援専門員対象の研修会の実施・ 支援者向けの「医療的ケアに関する研修」、「強度行動障がいに関する研修」、「精神障がいに関する研修」、「高次脳機能障がいに関する研修」を開催 <p>➡詳細については、相談支援部会で報告予定。</p>

(5) 地域の体制づくり

①板橋区の目指すべき姿

- 基幹相談支援センター、委託相談支援事業、特定相談支援、一般相談支援等を活用してコーディネーターを配置し、地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制を構築する。

②進捗状況

検討項目①
各福祉サービス事業所等の連携
進捗状況
<ul style="list-style-type: none">・ (仮称) 安心支援プランを通じて、相談支援事業所を中心とする関係機関の連携体制の構築にむけた仕組みについて検討中。・ 相談支援事業所の地域生活支援拠点事業所としての登録方法について検討中。